

日本作物学会第 262 回講演会プログラム

会 期：2026 年 9 月 16 日（水）～9 月 18 日（金）

会 場：酪農学園大学

〒 069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

事務局：〒 069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

酪農学園大学農食環境学群栽培学研究室

日本作物学会第 262 回講演会運営委員会事務局

プログラム一覧

月日	時刻	第 1 会場 C1-101 講義室	第 2 会場 C1-201 講義室	第 3 会場 C1-301 講義室	第 4 会場 C4-201 講義室	第 5 会場 C4-202 講義室
9 月 16 日 （水）	9:30	受付 中央館 1 階ロビー				
	10:00	受賞記念講演 中央館 1 階学生ホール				
	11:30 11:35	ポスターセッション（奇数番号） 中央館 1 階～2 階ロビー				
	12:15	休憩				
	13:15	シンポジウム 中央館 1 階学生ホール				
	16:45 18:00	懇親会 サッポロビール園ポプラ館 2 階				
	20:00					
月日	時刻	第 1 会場 C1-101 講義室	第 2 会場 C1-201 講義室	第 3 会場 C1-301 講義室	第 4 会場 C4-201 講義室	第 5 会場 C4-202 講義室
9 月 17 日 （木）	9:00	受付 C1 号館 1 階ロビー				
	9:30	栽培 1 ～ 6	リモートセンシング・モデリング／遺伝子・ゲノム解析／光合成・呼吸・物質生産／品質 15 ～ 20	栽培／環境ストレス／品質 29 ～ 34	栽培／リモートセンシング・モデリング／代謝・分配・蓄積／光合成・呼吸・物質生産 43 ～ 48	
	11:10 11:20	ポスターセッション（偶数番号） 中央館 1 階～2 階ロビー				
	12:00	休憩				
	13:00	栽培／環境ストレス 7 ～ 14	栽培／リモートセンシング・モデリング／その他 21 ～ 28	栽培／リモートセンシング・モデリング／発芽・発育／その他 35 ～ 42	栽培／環境ストレス／遺伝子・ゲノム解析／形態／光合成・呼吸・物質生産 49 ～ 56	
	14:30					小集会
	15:14					
	17:00					

前の講演の終了後、約 2 分間の準備時間を取りますので、その間にプロジェクタとコンピュータの接続を行ってください。

1. 受付

中央館 1 階ロビー（第 1 日目）または C1 号館 1 階ロビー（第 2 日目）

2. 一般講演

日 時：9 月 17 日（木）9：30～15：14

第 1 会場：C1-101 講義室（C1 号館 1 階）

第 2 会場：C1-201 講義室（C1 号館 2 階）

第 3 会場：C1-301 講義室（C1 号館 3 階）

第 4 会場：C4-201 講義室（C4 号館 2 階）

第 5 会場：C4-202 講義室（C4 号館 2 階）

- 1) 一般講演は「コンピュータ」による発表のみです。プロジェクタに接続して使用するコンピュータは、発表者ご自身でご用意ください。
 - 2) プロジェクタとコンピュータの接続端子は VGA（ミニ D-sub15pin）と HDMI のみで接続します。運営委員会側にコネクタの用意はありませんので、ご自身のコンピュータにコネクタが必要な場合は各自で持参してください。
 - 3) コンピュータの操作は発表者自身で行うか、他の参加者に依頼してください。
 - 4) 発表者は、ご自身の発表の 2 講演前には演台近くに着席してください。
 - 5) 前の講演の終了後、約 2 分間の準備時間を取りますので、その間にプロジェクタとコンピュータの接続を行ってください。
- 各会場および 9 月 16 日の試写室の準備はありません。

3. ポスターセッション

日 時：9 月 16 日（水）11：35～12：15（奇数番号のポスター）

9 月 17 日（木）11：20～12：00（偶数番号のポスター）

会 場：中央館 1～2 階ロビー

- 1) 展示用パネルは A0 サイズのポスターを縦に貼り付けることができるもの 1 枚（片面）です。
- 2) ポスターは、発表の 1 時間前までにに取り付けてください。また、講演会 2 日目の 13：00 までに取り外してください。
- 3) 発表者は発表時間にポスターの前に待機して説明してください。なお、座長が発表を確認します。

4. 授賞記念講演

日 時：9 月 16 日（水）10：00～11：30

会 場：中央館 1 階学生ホール

- 1) 日本作物学会賞
農家圃場における作物生産性評価に関する情報収集・解析方法の開発
本間香貴（東北大学大学院農学研究科）
- 2) 日本作物学会研究奨励賞
穂肥重点施肥による暖地向けコムギの高品質・多収栽培技術
水田圭祐（香川大学農学部）
寒冷地における乾田直播水稻の収量制限要因と持続的生産に向けた課題の解析
浪川茉莉（農研機構東北農業研究センター）
ダイズ青立ちの発生要因と新品種の多収要因の解明
山崎諒（農研機構作物研究部門）

5. シンポジウム

不安定な食料安全保障情勢に向けた北海道農業の果たす役割 気候変動と担い手不足に対処する北海道農業の新たな挑戦！

日 時：9 月 16 日（水）13：15～16：45

会 場：中央館 1 階学生ホール

コーディネーター：秋本正博（帯広畜産大学）

- 1) 需給バランスを揺るがす国内外の情勢
吉岡徹（酪農学園大学農食環境学群）
- 2) 北海道における水稻乾田直播栽培
林怜史（酪農学園大学農食環境学群）
- 3) 北海道水稻における温暖化の影響～過去の予測と現状、今後の技術課題～
熊谷聡（北海道立総合研究機構農業研究本部上川農業試験場）
- 4) 北海道の収量向上の歴史と生産量の推移、および近年の情勢に向けた技術的対策（コムギ）
池口正二郎（北海道小麦技術事務所）
- 5) 子実用トウモロコシの必要性と課題
柳原孝二（日本メイズ生産者協会）
- 6) 十勝地方におけるラッカセイの新規導入
秋本正博（帯広畜産大学）
- 7) 北海道でサツマイモが栽培できるのか？
大道雅之（元拓殖大学北海道短期大学）

6. 小集会

日 時：9月17日（木）14：30～17：00

会 場：C4-202 講義室（C4号館2階）

発起人：山口友亮（岐阜大学応用生物科学部）

長崎裕一（農研機構北海道農業研究センター）

中嶋洸太（岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域）

松井俊樹（酪農学園大学大学院酪農学研究科）

小野寺楽（東北大学大学院農学研究科）

松村悠生（北海道大学大学院農学院）

古賀美羽（北海道大学大学院農学院）

檜山魁士（北海道大学大学院農学院）

玉井伊吹（北海道大学大学院農学院）

課題名：若手の会企画による小集会（38）「植物の3次元形態はデータ化するべきだ．ハンズオン」

内 容：生育調査のために採取した植物体は、たいていの場合それが終わったら捨ててしまう．残るのは、測定したいいくつかの数値のみだ．「あれも測っておけばよかった」と思ったとしても、もう戻れない．「どんな形だったかな」と思ったとしても、もう一度観察することはできない．測定とは、情報を減らすことだ．

本小集会では、植物の個体をスマホで撮影するだけでその3次元形態をデータ化し保存できる技術とその解析事例について、ハンズオンを実施します．

3次元データで保存しておけば、再計測や再観察が可能になります．さらに、これまで測れなかった形質が測れるようになったり、測定が効率的になったりするかもしれない．光合成のシミュレーションがより正確に行えるようになるかもしれない．参加者同士で議論を行い、3次元データの作物学研究における可能性を探ります．

7. 懇親会

日 時：2026年9月16日（水）18：00～20：00

会 場：サッポロビール園ポプラ館2階

シンポジウム終了後、懇親会会場までのバスを運行します．

8. エクスカーション（事前申し込み者のみ）

テンサイ、子実用トウモロコシ、ダイズに関する視察を行います．参加費4,000円は講演会会場の受付にて現金でお支払いください．

日 時：2026年9月18日（金）9：00～15：00

集 合：9：00, JR野幌駅南口

解 散：15：00, 新千歳空港

9. 講演会参加費

会員区分	参加費	懇親会費
一般	8,500 円（不課税）	8,000 円（税込）
学生	6,000 円（不課税）	5,500 円（税込）
非会員	12,000 円（税込）	10,500 円（税込）

10. 各種委員会

1) 学会賞選考委員会

日 時：9 月 15 日（火）13：00～16：00

場 所：札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 道民活動センタービル 北海道立道民活動センターかでの 2・7
810B 会議室

2) シンポジウム委員会

日 時：9 月 16 日（水）12：15～13：15

場 所：C1 号館 2 階, C1-202 講義室

3) ダイバシティ推進委員会

日 時：9 月 17 日（木）11：30～12：00

場 所：C5 号館 2 階, C5-202 講義室

4) 出版部

日 時：9 月 17 日（木）11：30～12：00

場 所：C4 号館 2 階, C4-202 講義室

5) 英文誌編集委員会

日 時：9 月 17 日（木）12：00～13：00

場 所：C4 号館 1 階, C4-101 講義室

6) 講演会企画委員会

日 時：9 月 17 日（木）12：00～12：40

場 所：C5 号館 2 階, C5-203 講義室

7) オンライン講演要旨作成システムワーキンググループ

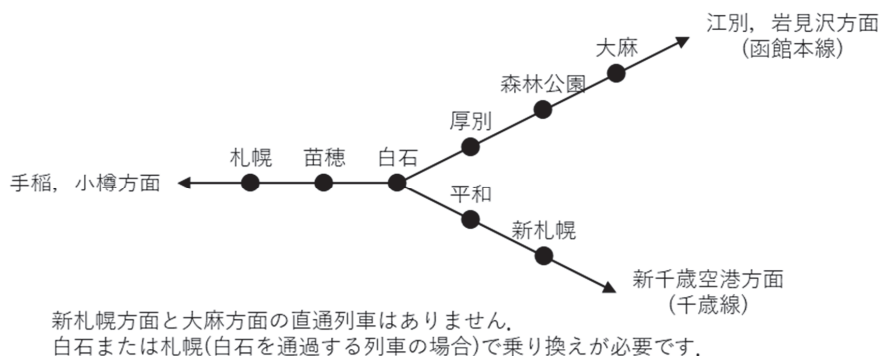
日 時：9 月 17 日（木）12：40～13：00

場 所：C5 号館 2 階, C5-203 講義室

11. 会場アクセス

- ①札幌駅から：JR 函館本線江別または岩見沢行き普通列車に乗車→大麻駅（約 15 分）下車後、南口から徒歩 15 分
- ②新札幌駅から JR 北海道バス利用：新札幌バスターミナル北レーン 10 番乗り場から JR 北海道バス新 26 番（野幌駅北口または江別駅前行き）、新 27 番（江別市立病院行き）、新 29 番（情報大学前または野幌運動公園行き）に乗車→とわの森三愛高校前（約 15 分）下車後、徒歩 10 分
- ③新札幌駅から夕鉄バス利用：新札幌バスターミナル北レーン 12 番乗り場から夕鉄バス南幌東町またはあけぼの団地昭光福祉会前行きに乗車→酪農学園前（約 15 分）下車後すぐ（夕鉄バスは JR 北海道バスと比較すると運行本数が少ないのでご注意ください）
- ④新千歳空港から札幌駅経由：JR 千歳線札幌、手稲または小樽行きに乗車（全ての列車が札幌駅に停車します）→札幌駅（快速エアポートの場合約 40 分）下車後、上記①の交通手段を利用。早朝の時間帯には途中の白石駅に停車する快速エアポートや普通列車があり、白石駅で JR 函館本線江別または岩見沢行き普通列車に

乗り換えることができます（下図参照）。なお、札幌市営地下鉄にも同名の白石駅がありますが、JRの白石駅とは約2km離れており乗り換えはできませんのでご注意ください。



- ⑤新千歳空港から新札幌駅経由：JR 千歳線札幌，手稲または小樽行きに乗車（全ての列車が新札幌駅に停車します）→新札幌駅（快速エアポートの場合約30分）下車後，上記②または③の交通手段を利用

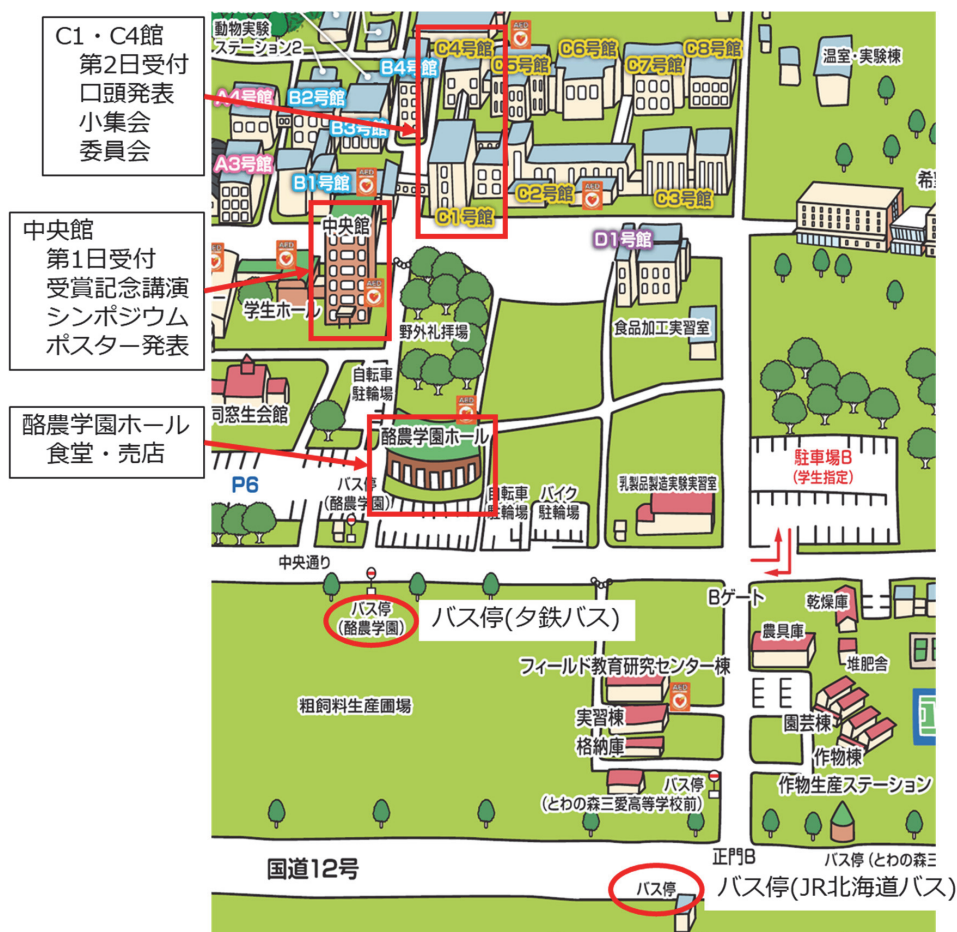
【食堂の営業時間】

生協食堂

9月16日（水）11：00～13：30

9月17日（木）11：00～13：30

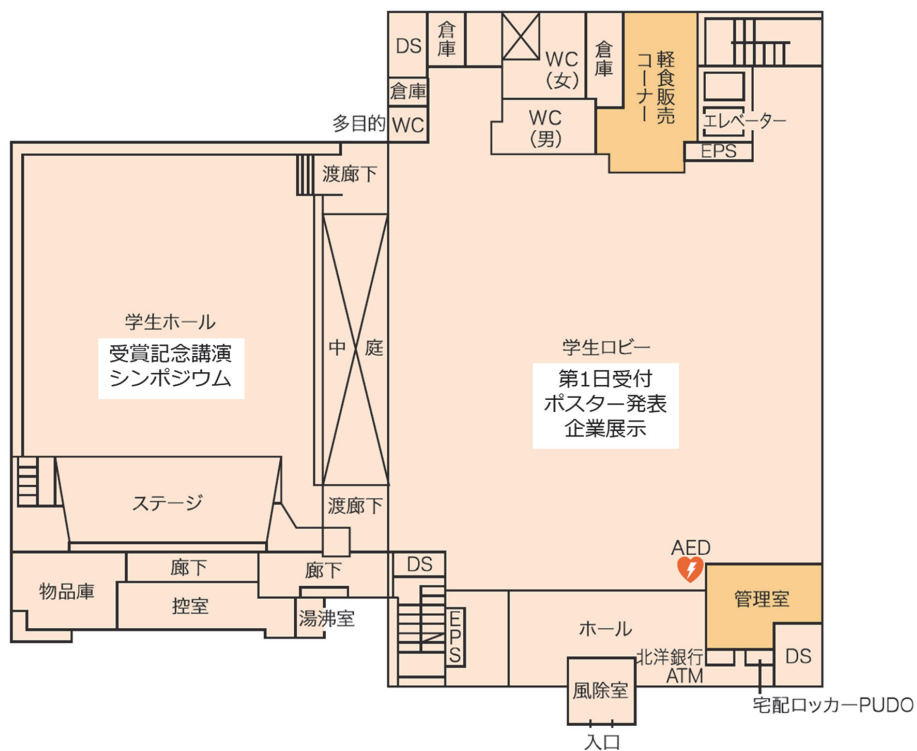
【キャンパスマップ】



【会場案内図（中央館）】

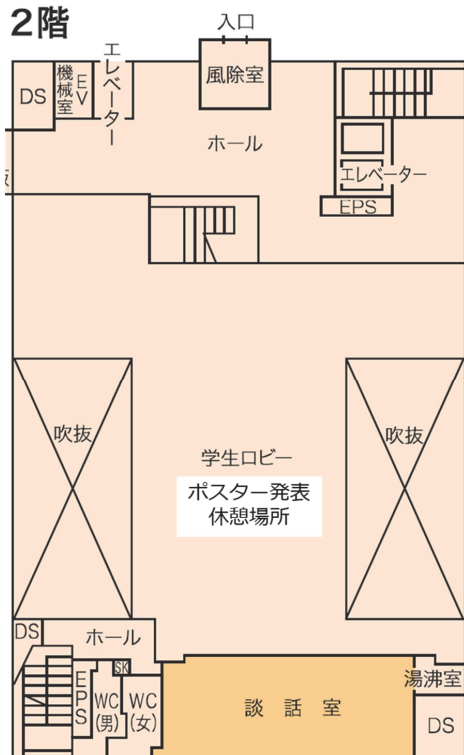
1 階（第 1 日受付，受賞記念講演・シンポジウム会場，ポスター発表会場、企業展示）

1 階



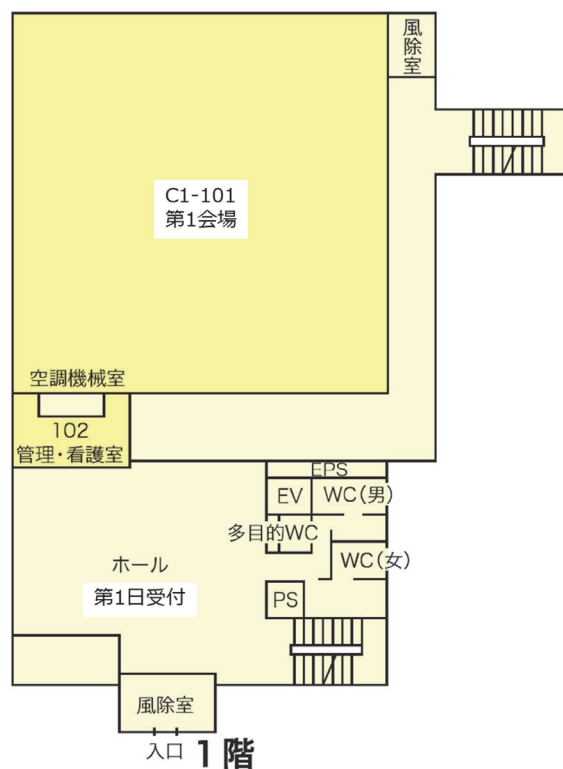
2 階（ポスター発表，企業展示，休憩場所）

2 階

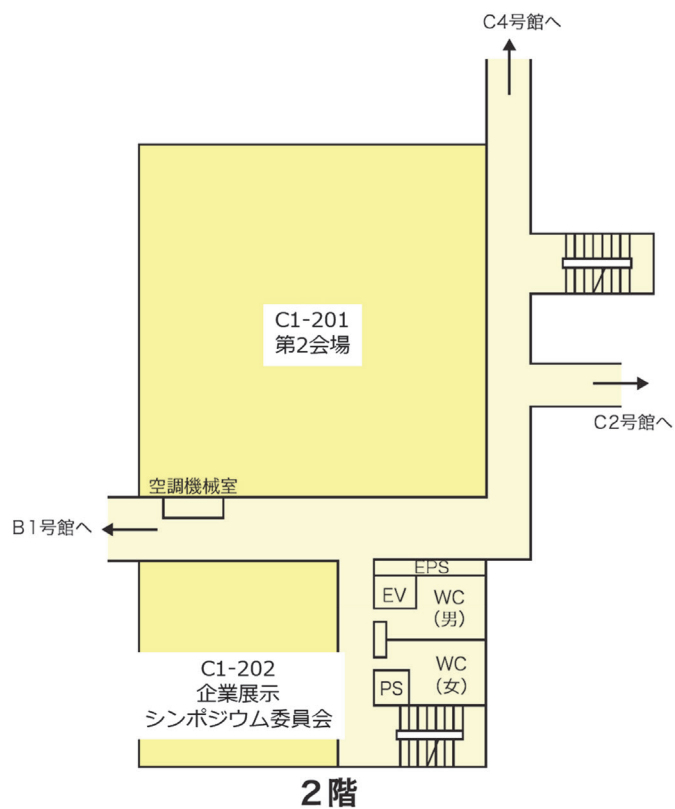


【会場案内図（C1号館）】

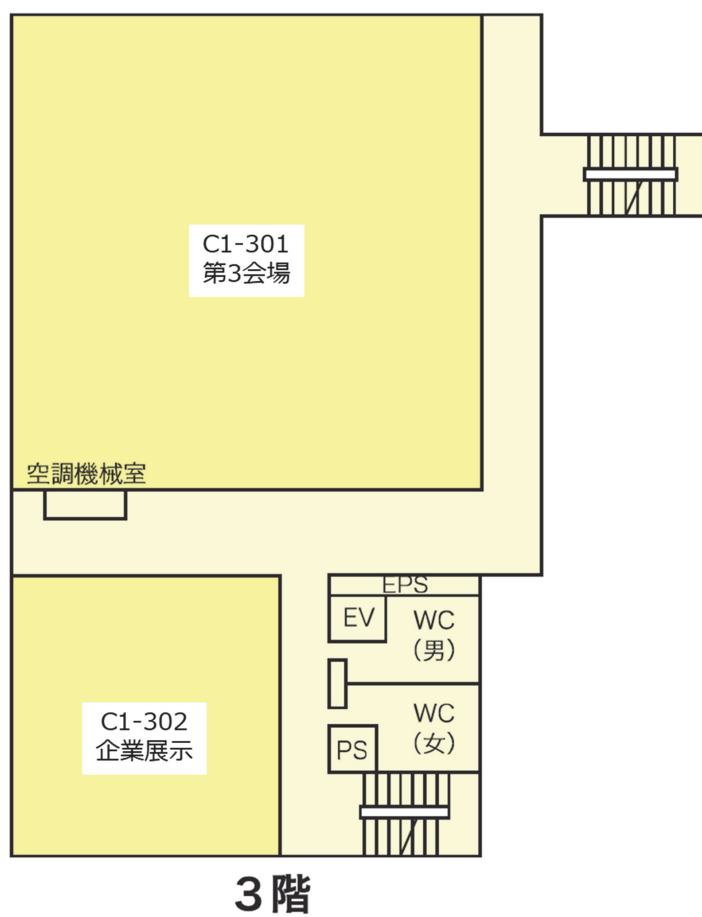
1階（第2日受付，第1会場）



2階（第2会場，企業展示，シンポジウム委員会）

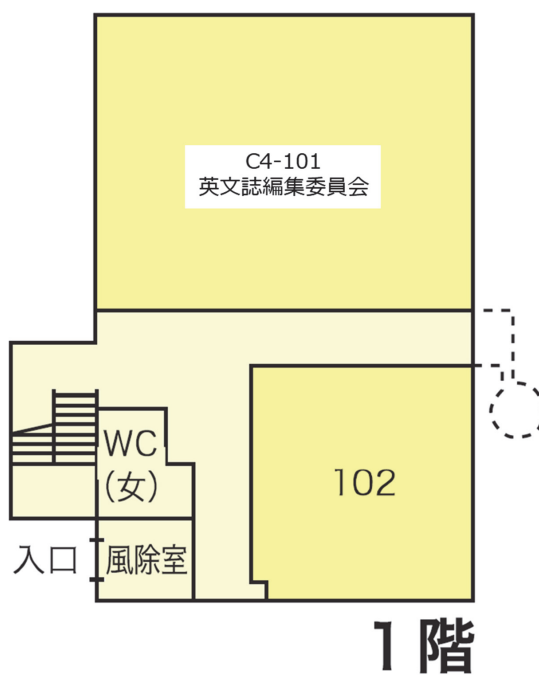


3 階（第 3 会場，企業展示）

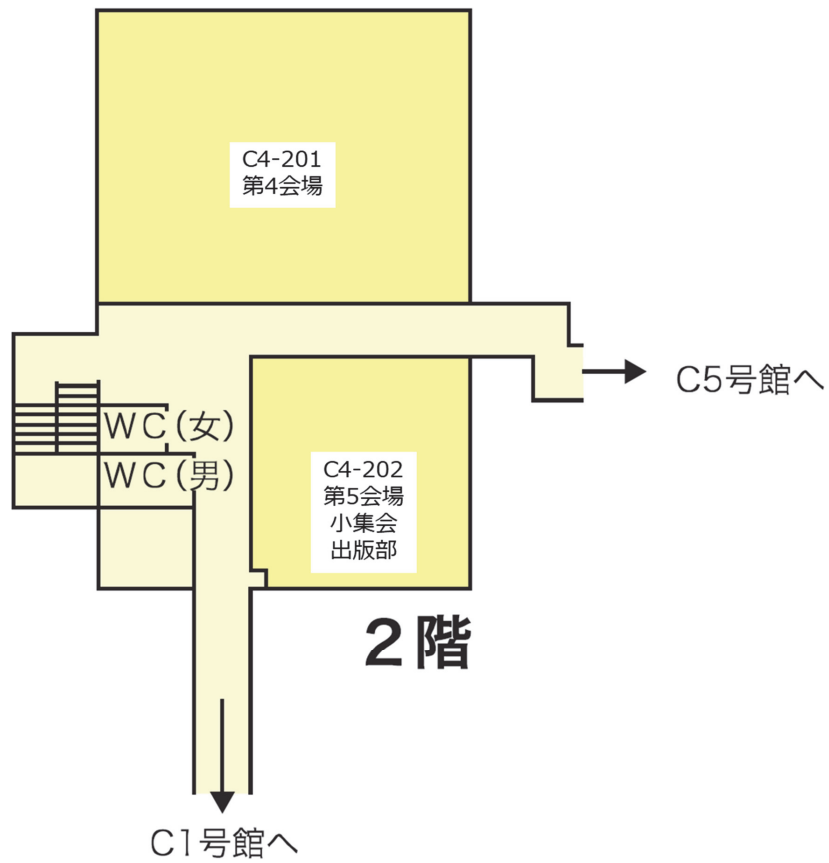


【会場案内図（C4 号館）】

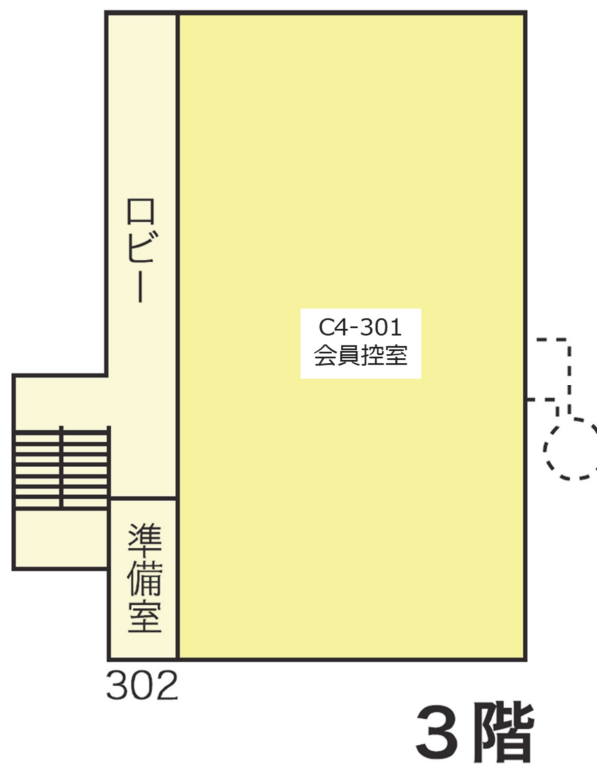
1 階（英文誌編集委員会）



2 階（第 4 会場，第 5 会場，小集会，出版部）

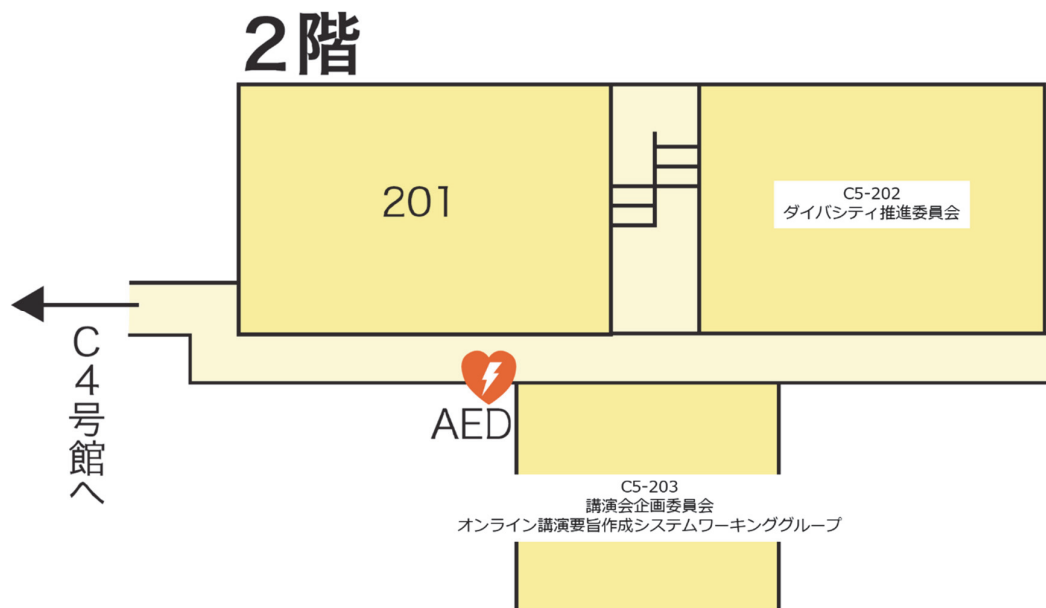


3 階（会員控室）



【会場案内図（C5号館）】

2階（ダイバシティ推進委員会，講演会企画委員会，オンライン講演要旨作成システムワーキンググループ）



【江別市および札幌市の観光案内】



えべつ観光協会



札幌観光協会

日本作物学会第 262 回講演会運営委員会

運営委員長：義平大樹（酪農学園大学）

事務局 長：林 怜史（酪農学園大学）

運 営 委 員：飛谷淳一（酪農学園大学）

柏木純一・中島大賢（北海道大学）

秋本正博（帯広畜産大学）

笠島真也（東京農業大学）

中村卓司・鮫島啓彰・八木岡敦・長南友也（農研機構北海道農業研究センター）

北畠拓也・今 啓人・小谷野茂和（北海道立総合研究機構）

事 務 局：〒 069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

酪農学園大学農食環境学群栽培学研究室 内

E-mail: cssj262@gmail.com

第 262 回講演会ホームページ：<https://cropsscience.jp/event/meeting/meeting262/>

本誌に掲載された論文などの著作権は、日本作物学会が所有しています。

学会ホームページ：<https://cropsscience.jp>